

よ読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

阿曾小（総社市）の児童が、総社とゆかりが深いハッカについて学習を深めています。記事を読んで質問に答えましょう。

てい がく ねん
低学年も
チャレンジ!

Q1

見出し（記事の中にある大きな文字）に書いてあるように、ハッカはどんな味かな。

Q2

日本のハッカ産業は、江戸期に総社の人が手がけた商業栽培が先駆けとされています。誰が行ったのでしょうか。人名を抜き出しましょう。

日本のハッカ産業は江戸期に総社の秋山熊太郎が手がけた商業栽培が先駆けとされる。市内では10年前からNPO「総社商店街筋の古民家を活用する会」が栽培を復活。お茶や芳香剤といった商品開発を進めている。
児童は同会理事長の金丸由記子さん（72）から歴史や栽培法を学び、苗を1人1株ずつ鉢に植えて中庭で育てている。今月11日には、同会が管理する古民家「旧堀和平邸」のハッカ畑（約30

栽培体験、生産現場見学

「試食楽しみ」

平方（び）を訪れ、金丸さんが摘み取って水洗いし、乾燥させるまでの一連の流れを見学した。
児童も19日に鉢植えの収穫を計画している。校内で2週間ほど乾燥させて葉をもぎ、スカッシュやゼリーにして味わう。三浦怜さん（8）と菊川唯子さん（8）は「どんな味がするのか知りたくなってきた。試食会が楽しみ」と口をそろえる。
ハッカ学習は学校側の依頼で2024年度から始まり3年目。

ゆかりのハッカどんな味？

総社市西阿曾の阿曾小3年生20人が、総社とゆかりが深いハッカについて学習を深めている。4月から校内で栽培を始め、今月は復興に取り組んでいるNPO法人の生産現場を見学。今後は収穫体験や試食も行う予定で、児童が心待ちにしている。（小畑誠）

総社・阿曾小3年生 地元の産業学習



金丸さん（左端）からハッカの話聞く阿曾小児童たち

2026年6月17日付、備中面

Q3

阿曾小の児童は、ハッカを味わう計画をしています。どのようにして味わおうとしていますか。

- ①アイスやケーキ ②スカッシュやゼリー ③パンやクッキー

過去の問題は
こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。